

キャラクター名
リチャード・A・グレアム

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ハヌマーン		ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー	
	オプション		年齢	14		性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓		初期侵食率	31	%
出自	経験				邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	44
肉体	1	1	2	7		11	行動値	10
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	21	10	射撃			R C	1		交渉		
回避	21		知覚			意志	11		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
不浄王 (ゾディアックウェポン)	白兵	11r+28	3	11+1D		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
バトルマニューバ	
ガーディアンズサイン	
イレーストレース	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費
複製体: BI	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ミラーイメージ	2	4	S				80/汎LV	
効果:	ドッジ判定のC値-1 ラウンド間 攻撃力-5 1シナリオLV回							
C:ハヌマーン	3	2	M					
効果:								
見えざる死神	3	2	M			白兵		
効果:	隠密状態で使用可 判定ダイス+1 攻撃力+[LV*2]							
音速攻撃	3	2	M			白兵		
効果:	攻撃のダイス+LV							
光速の剣	3	1	M			白兵		
効果:	この攻撃はガード不可 1シナリオLV回							
獅子奮迅	3	4	M			白兵		
効果:	白兵攻撃の対象を範囲(選択)に 1シナリオLV回							
吠え猛ける爪	4	2	M			白兵		
効果:	装甲値無視 攻撃力-[5-LV](max0)							
主の右腕	5	2	M			S		
効果:	攻撃力+[LV*2]							
さらなる波	5	2	M			S		
効果:	攻撃力+[LV*2]							
滅びの光	3	3	M			S		
効果:	攻撃力+[LV*3] 対象が単体は適応しない							
マシラのごとく	3	5	M			S	80↑	
効果:	攻撃力+[LV*10] 判定ダイス-5 1シナリオ1回							
マスヴィジョン	3	4	M			S	100↑	
効果:	攻撃力+[LV*5] 1シナリオ3回							
陽炎の衣	2	3	m					
効果:	メインプロセス終了まで隠密状態に 1シーンLV回							

グレアム家の跡取り息子として作られた、ダニエルのクローン。
 リチャード自身はその事実を知っているが、意識しないように心がけている。
 親や家の使用人は、ダニエルの存在を「なかったもの」として扱っているため、自分も長男だと思って育ってきた。
 生まれながらにオーヴァードだったため、幼いころから家庭教師を雇って訓練をしており、その後モウエルトン・エリメンタリースクールに入り、それからずっと寮生活をしている。
 使用人が日本人で、教育係も務めていたため、日本文化に興味をもつ。
 日本に合同演習に行った際に同じメンバーだった少女に一目ぼれし、余計に日本のことを知ろうとのめりこんでいく。

ウェルトンに通い始めてすぐのころに兄と顔を合わせたことがあり、あまりにも自分とそっくりそのままだと思い、こっそり資料などを見たり人に聞いたりして調べたところ、自分の出自の秘密に気付いた。しばらくは悩んだこともあったが、自分が必要とされている現実を受け止め、忘れるように努めることにした。

ニールとも知り合い。たまに説教をしに来た時に話す仲。彼にだけは自分が作られたことを打ち明けている。(幼少期のダニエルが一番近い人物だったから吧れた)

能力を使うときに呪文のようなものを唱えるくせがある。(本人曰く、力を使うための儀式のようなもの)
 自身の身の丈よりも大きい大太刀を自在に操り、刀身で光を反射させながら身を隠しつつ戦う。

不浄王
 此は万の基にて、かなり
 此は万の基にて、大いなる力なり

